

〔数学〕中1 組 番 氏名

1 (1) 7

【解き方】

$$9 - 4 \times 0.5 = 9 - 2 = 7$$

(2) $\frac{6}{25}$

計算の中で約分できるときは、約分してから計算します。

(3) $\frac{25}{6} \left[4\frac{1}{6} \right]$

【解き方】

$$3.5 \times \frac{5}{7} \div 0.6 = \frac{3\cancel{5}}{10} \times \frac{\cancel{5}}{\cancel{7}} \times \frac{10}{6} = \frac{1}{1} \times \frac{25}{6} = \frac{25}{6}$$

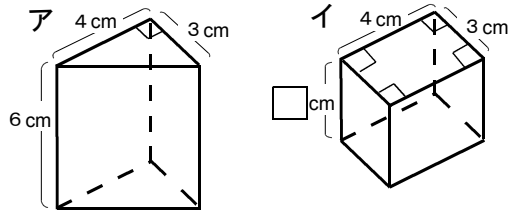
小数は分数にして計算しましょう。

2 AとBの自動車の時速を求めて比べます。
 Aの自動車の速さは
 式（ $114 \div 2 = 57$ ）で（ 時速 57 km ）、
 Bの自動車の速さは
 式（ $0.9 \times 60 = 54$ ）で（ 時速 54 km ）、
 だから、 A の自動車が速いです。

Aの自動車は2時間で114 km
 →（道のり）÷（時間）で時速を求めます。
 Bの自動車は分速0.9 km
 →1時間は60分なので、
 （分速）×60で時速を求めます。

3 3 cm

角柱の体積は、（底面積）×（高さ）で求められます。
 三角柱の体積は、底面積が 6 cm^2 （ $3 \times 4 \div 2$ ）、高さが 6 cm なので、 6×6 で 36 cm^3 です。
 四角柱の底面積は 12 cm^2 （ 3×4 ）なので、四角柱の体積を求める式は、 $12 \times \square = 36$ 。よって、 \square は3となります。



四角柱の底面積が三角柱の底面積の2倍になっているので、同じ体積にするためには、四角柱の高さを三角柱の高さの半分にすると考えて、求めることもできます。

4 【説明】①と③とでは、高さが2：1で底辺が1：1だから縮図ではない。

もとの図を、形を変えないで大きくした図を拡大図、形を変えないで小さくした図を縮図といいます。

対応する辺の長さの比が、すべて同じではないことが分かるように書かれていれば正解です。

5 イ

平行四辺形の対角線は、対応する2つの点を結ぶ直線なので、「対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通ること」を理由に、対称の中心が見つけれられる理由を説明することができます。

6 比例するもの **ア、オ**

2つの数量 x と y があって、 x の値が \square 倍になると、それともなって y の値も \square 倍になるとき、「 y は x に比例する」といいます。

反比例するもの **ウ、エ**

2つの数量 x と y があって、 x の値が \square 倍になると、それともなって y の値が $1/\square$ 倍になるとき、「 y は x に反比例する」といいます。

7 ウ